

2019年度 第4回 運営会議ニュース

日 時	2019年7月14日(日) 13:30~16:00
場 所	県立座間谷戸山公園 パークセンター(レクチャールーム)
出席者	12名

各ゾーンエリアの管理について(各団体等からの報告事項)

●座間のホタルを守る会(略:ホタルの会)

一か月、ホタルの発生数調査とホタルガイドをやってきた。6/13に観察会を行った。今年度は田んぼで数が多く期間も長く出現した。湿生生態園は数が非常に少なかった。水路の水枯れが原因かと思われ、上流まで手入れが必要かもしれない。昨年と比べればピーク時の発生数は少ないが、春先の湧水もあり、ゆらぎの範囲か。源流部での発生も少なく、手入れの仕方も工夫が必要かと思う。北谷戸水路の水漏れ対策として公園に購入してもらった防水シートは効果があり、水路に水が流れるようになった。わきみずの谷に設置した遮光ネットは高さが低いが一定の効果があった。また、わきみずの谷の段差に貼ってもらった蓄光テープは来園者からも評判がよかったので、来年度もやってほしい。(公園) わきみずの谷の木道の幅を仮設で拡げる話もあったが、今年は様子を見て、来年に向けて考えようと思う。(ホタルの会) 水鳥の池~四阿の北水路で草が生え、日当たりが悪くなってきており今年には大幅に手を入れる予定。残す植物を予め言っただければと思う。

●グリーントフ・谷戸山公園グループ(略:グリーントフ)

6/16に定例自然観察会を行った。ブタナ、ニワゼキショウ、オオニワゼキショウの観察をした。ブタナはヨーロッパでは食用にされている。モジズリ(ネジバナ:ランの仲間)がカトレアに似ている。左右どちらに巻くのかは1:1で偶然決まり、遺伝的なものではないらしい。一番安定する形になると思われる。キツリフネはインパチェンスという学名があり、ホウセンカの仲間。花を咲かせない閉鎖花の場合、花弁、香、蜜が不要である。環境の変化に対応するため解放花も作っていかねばならない。植物動物含めて一番短い名前はイ(イグサ)である。(公園) キツリフネは増えている。(グリーントフ) わきみずの谷の方まで増えてきている。タネもはじけ飛んで増える。

●専門委員

ホタルの遮光ネットにカエルが引っかかる。一番下がゆとりをもって置いてあり、重しをしているが、ヒダにヒキガエルがトラップされていた。これではアライグマに食べられてしまう。地上を移動する動物は引っかかるのでは。ところどころ穴を開けてはどうか。(ホタルの会) 風で飛ばないように重しをした。長さが中途半端なので、来年は折り返し方を工夫してみる。

●谷戸山自然ボランティア(略:やとボラ)

湿生生態園で雨の日にカップを着てメダカを捕っていた人がいた。親子連れもたくさん持って行っている。(公園) ザリガニ以外は持ち出し禁止看板を設置したが、パトロールの際に気づいた時は注意するようにしている。雨の中捕っているというのは業者の可能性も?捕獲しているところを見た際は、管理事務所に一報してほしい。(やとボラ) 北側水路の手入れをいつやるのか。(ホタルの会) やるとしたら九月以降だが、具体的に日程は決まっていない。(やとボラ) ホタルの飛翔場所を公園に確認してから来たが、迷った人がいた。方向は示せないか。(公園) ホームページで場所の確認はできるが…。(ホタルの会) 迷っている人も確かにいる。いろんなところに矢印を立てるのもちょっと…。周囲の人2,3人に聞けばわかるのだが難しいところ。追加の報告として、今年度はわきみずの谷の水の湧出口にホタルが多く出た。初めてのことで、今年の特徴である。(やとボラ) トキワツユクサがいろんなところにある。(公園) 三峰神社、シラカシ林の中心部にも入り込んでいる。少しずつコントロールしてもよいのでは。

●写楽会

(写楽会) みちくさ広場の草が茂ってきている。草刈り予定表にも入っていない。(公園) 昨年も刈っている。昆虫ウォッチングを終わった頃に刈るようにしている。(写楽会) 一昨年は6月ごろ

にネズミムギの対策をしたら、翌年は一気に減った。去年は刈ったままで片づけないとまた増えた。タネになる前に採るのが重要。本来の植生に戻せればと思う。

厚木土木事務所東部センターおよび公園管理事務所からの連絡事項等

●厚木土木事務所東部センター（県土木）

・都市計画道路の整備で公園の法面処理が必要となる。工法案を用意したのでどれがよいか意見を伺いたい。擁壁の種類と高さ、切土延長、かかるお金等が案によって異なる。

→生き物の退避場所となる緑化ブロックがよいのでは。⇒（県土木）緑化ブロックで施工したところは、土砂対策防止法のイエローに指定される可能性があり、場合によっては法枠や大型コンクリートブロック積擁壁等で作り直す可能性がある。

→擁壁をちょっと後退して、高さも低くしたらどうか。

→コンクリート直壁やブロック積擁壁など人工的な景観は避けた方がよいのでは。生物の使いやすさを考えるべき。

→地下水の問題は大丈夫か。斜面を一気に水が流れてしまうのでは。水を斜面に戻せるか。

→法枠工法は在来種で緑化することのことだが、タネを園内等で集めてはどうか。

⇒なだらかで動物も移動可能。雑木林の伐採面積は小さくないが、案1の法枠が妥当ではないか。

・道路整備に伴うボーリングについて。希少種等が生えているところは避けるように行うことで座間市に了解を得た。7月の下旬から作業に入る。二週間ぐらいで終了予定。

●公園管理事務所（略：公園）

・里山保全隊の活動場所確認。北駐車場の東側エリアで下草刈りを行う。

・昆虫ウォッチング実施日を8/21（水）に決定。協会直営で実施する予定。

●その他

・水の生き物みっけは公園主導でやってもらいたい

・緑化ブロックや崩れ石積みに出ている木の実生は早いうちに除去した方がよい

次回開催日	9月8日（日）13：30～16：00
-------	--------------------

※運営会議への提案や傍聴を希望される方は、公園管理事務所までお申し出下さい。